

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米州〕
- (2) 日本研究教員拡充助成〔米州〕
- (3) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔米州〕
- (4) 日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕
- (5) 日本研究図書拡充〔米州〕
- (6) 日本研究機関支援（その他：ニューヨーク事務所小規模グラント）〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 小淵フェローシップ（派遣）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔米州〕

米州交流事業費

日本研究事業費 (1) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [米州]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 8,904,466 円

	氏名	現職	受入機関	国	期間	事業内容
1	中西 徹	東京大学大学院総合文化研究科 教授	ポリテクニコ・グランコロンビアノ大学	コロンビア	07.09.05～ 07.09.30	開発社会経済論
2	若林 幹夫	早稲田大学教育総合科学学術院 教授	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコ	08.01.20～ 08.07.17	現代日本社会と文化
3	坂本光代	上智大学外国語学部英語学科 准教授	サンパウロ大学 哲学・文学・人間科学部	ブラジル	07.08.01～ 07.09.15	バイリンガリズムと言語習得・学習
4	咲川 可央子	元(財)国際金融情報センター中南米部主任研究員	ラファエル・ランディバル大学	グアテマラ	07.09.17～ 07.09.22	日本経済の理論と実践

日本研究事業費 (2) 日本研究教員拡充助成 [米州]

人文科学、社会科学分野で日本に関する教育・研究のために教育職を新規に設置する海外の高等教育・研究期間に対し、新規採用の人件費を当初3年間に限って助成する。

合計額 14,035,204 円

	機関	国	期間	事業内容
1	フロリダ大学	米国	07.08.15～ 08.06.30	近代日本史助教授の給与助成 (第2年次)
2	モンタナ州立大学	米国	07.07.01～ 08.06.30	文化人類学助教授の給与助成 (第1年次)
3	ミシシッピ大学	米国	07.07.01～ 08.06.30	日本史助教授の給与助成 (第1年次)
4	モントリオール大学	カナダ	07.09.01～ 08.05.31	日本文学講師の給与助成

日本研究事業費 (3) 日本研究リサーチ・会議 (助成) [米州]

日本研究を実施している海外の高等教育・研究機関や学会等が日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップ等を実施する際に経費の一部を助成する。

合計額 3,821,160 円

	機関	国	期間	事業内容
1	ブリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	07.04.01～ 08.03.31	日本の宮廷文化：継承と受容
2	コーネル大学	米国	07.04.01～ 08.03.31	日本舞台芸術リソースセンター (JPARC) 会議

日本研究事業費 (4) 日本研究組織強化支援 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 41,603,118 円

	機関	国	期間	事業内容
1	北米日本研究資料調整協議会	米国	07.08.01～ 08.07.31	北米の日本研究関連情報専門家のネットワーク強化支援事業。司書の専門的研修や司書と教授陣の連携を高める研修などを実施するとともに年2回の会合で活動報告と今後の活動計画を協議した。
2	イリノイ大学	米国	07.07.01～ 08.06.30	中西部地域の日本研究者がホスト機関に集まり、研究会を実施。中西部地域における日本研究者の学術コミュニティを形成し強化する事業に対する支援を行った。
3	米国社会科学研究評議会 (SSRC)	米国	07.04.01～ 08.03.31	大学院生と研究者のネットワーキングを形成することにより日本研究を専攻する学生の孤立化を解消する事業に対する支援。主に日本研究部門を有していない大学・研究機関に所属する学生を対象に実施。
4	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター (IUC)	米国 カナダ	07.04.01～ 08.03.31	米国・カナダにおける日本専門家の養成を目的とする事業。主として加盟17大学の日本研究専攻大学院生に対し、将来の専門活動に資するべく上級日本語教育の研修を実施した。
5	京都アメリカ大学コンソーシアム (KCJS)	米国	07.04.01～ 08.03.31	主として米国加盟14大学の日本研究専攻学部生を対象とする日本語・日本文化集中研修センター事業。3年生を対象に8カ月間の集中研修を実施。助成金は13名の学生の奨学金に充当した。
6	カナダ日本研究学会	カナダ	07.04.01～ 07.09.30	日本研究に関するカナダ唯一の学際的な学会であるカナダ日本研究学会(JSAC)の年次総会を支援。幹事校ヨーク大学において3日間の日程(本会議部分)で開催され、カナダ、米国、日本等からの主要参加者76名、及び聴衆約100名が参加。各地から集まった様々な専門を持つ日本研究者のネットワーキングの機会となった。

米州交流事業費

日本研究事業費 (5) 日本研究図書拡充〔米州〕

日本研究機関支援の一部として、対象機関が日本研究の推進に必要な図書を寄贈し、あるいはその購入経費を助成する。
合計額 2,389,213 円

	事業名	国	冊数	事業内容
1	サンパウロ大学	ブラジル	23	大学内のさまざまな学部における日本に関する知的関心の多様化・専門化に対応するため、日本文化研究所図書館用の蔵書23冊を寄贈。
2	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコ	106	博士課程在籍者複数名が論文執筆に必要としている新日本古典文学大系全106冊を寄贈。
3	ポリテクニコ・グランコロンビアノ大学	コロンビア	32	将来の日本研究センター設立準備のための日本研究資料32冊を寄贈。蔵書の充実と日本研究の質の向上を行った。
4	ブリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	114	研究・会議助成に関連した室町時代物語大成、日本古典文学全集、和歌文学大系等の図書114冊を寄贈。
5	私立ラファエル・ランディバル大学	グアテマラ	45	経済分野を中心に45冊の日本関連図書を寄贈。

日本研究事業費 (6) 日本研究機関支援（その他：ニューヨーク事務所小規模グラント）〔米州〕

対象機関が日本研究の成果を出版するための経費を助成する、あるいは、対象機関の教員・学生等による訪日研究・研修を支援する等。

合計額 6,282,900円

	事業名	団体	期間	事業内容
1	日本研究環境整備事業	Northern University	08.03.31～ 09.03.30	カリキュラム開発事業
2	日本研究拡充事業	Bridgewater State College	08.03.01～ 09.02.28	学部ワークショップの実施
3	日本研究促進事業	Agnes Scott College	08.03.24	カリキュラム開発事業
4	日本研究基盤強化事業	Spelman College	08.04.01～ 09.03.30	日本の大学とのウェブ事業拡充
5	日本研究環境に即したアプローチ（フェーズ1）	Eckerd College	08.03.31～ 09.03.30	カリキュラム開発事業
6	日本語及び文化教育強化事業	Texas A&M University	08.03.15～ 09.03.14	ウェブ事業の拡充

米州交流事業費

人物交流事業費 (1)小渕フェローシップ (派遣)

日米両国政府の合意に基づく「小渕沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受入機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行う沖縄県内の研究者等に対しフェローシップを支給する。
合計額 18,726,928 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	山川あかり	名護市役所 政策推進部金融・情報特区推進室	07.05.08～ 07.09.28	「沖縄におけるファミリービジネス支援スキームによる構造変革 (institutional change) の促進：ハワイの沖縄県系ファミリービジネスの成功モデルを模したモデル構築と名護市金融特区におけるケース・シミュレーション」のテーマによりハワイ東西センターにおいて研究を行う。
2	高橋そよ	沖縄大学 地域研究所 特別研究員	07.07.01～ 08.06.30	「サンゴ礁の持続的な利用と住民参加型資源管理：沖縄とハワイ諸島における社会・生態的な脆弱性の理解に向けて」をテーマにハワイ東西センターにおいて研究を行った。
3	屋良 朝博	沖縄タイムス 記者	07.07.01～ 08.06.30	「日米同盟の新展開と沖縄の未来図-米軍再編へのジャーナリスト的アプローチ」をテーマに米国東西センターにおいて研究活動を行った。
4	山本 成	NPO法人沖縄 O.C.E.A.N. 役員	07.08.01～ 07.12.28	「アジア・太平洋島嶼国地域の持続可能な発展のための遠隔教育システム整備の技術および人的ネットワークの形成-文化的・地域的かつグローバルのあ人材育成・確保へ向けて」をテーマによりハワイ東西センターにおいて研究を行った。
5	宮良 信詳	琉球大学 法文学部 教授	07.08.20～ 08.01.19	「沖縄語の教材開発とハワイ大学と琉球大学間の沖縄研究ネットワーク構築」をテーマにハワイ東西センターにおいて研究を行った。

人物交流事業費 (2)日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 45,728,605 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	HELLYER, Robert, Ingels	ウェイクフォレスト大学助教授	米国	東京大学史料編纂所	07.08.30～ 08.08.08	緑茶：日本の産業化や国際化
2	LIPPIT, Miya Elise Mizuta	南カリフォルニア大学非常勤講師	米国	東京大学大学院人文社会系研究科	07.06.08～ 08.06.07	影からイルミネーションへ：美術・文学と近代日本の電化
3	SATO, Atsuko	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校非常勤講師	米国	北海道大学大学院環境科学院	07.06.08～ 07.09.14	北海道における持続可能な社会に向けての共治の現状：政府、企業、非営利団体による取り組みの包括的調査

米州交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
4	WHITE, Merry Isaacs	ボストン大学 教授	米国	金沢大学	08.02.15～ 08.06.14	社会的空間と変化する都市生活：日本のカフェ社会
5	SHOJI, Rafael	サンパウロカ トリック大学 研究者	ブラジル	南山大学	07.05.27～ 08.05.25	日系ブラジル人のキリスト教：国際ネットワークと日本における社会的な統合
6	OTA, Junko	サンパウロ大 学 哲学・文 学・人間科学 部 東洋文化 科付属日本文 化研究所所長	ブラジル	国際日本文化 研究センター	08.01.05～ 08.04.03	江戸から明治時代にかけての日本語変化の文化・社会・歴史的背景
7	SANTANA, Martin	エサン大学教 授	ペルー	早稲田大学	08.03.26～ 09.03.09	Eガバメントへの道：ペルーにおけるガバナンス及びパブリック・マネジメントの向上
8	YANG, X. Jie	カルガリー大 学教授	カナダ	立教大学	07.08.22～ 08.04.21	絵巻音読に関する基礎研究
9	FERNANDEZ TABIO, Luis Rene	ハバナ大学 副理事	キューバ	東京大学	07.09.22～ 07.12.20	米国の対キューバ経済制裁：日本・キューバ関係に与えたインパクト
10	PORTILLO RODRIGUEZ, Manuel	モンテレイ工 科大学メキシ コシティ校教 授	メキシコ	東京大学	07.06.02～ 08.05.27	日本の都市開発への市民社会の参加
11	ABI- SAMARA, Raquel	ブラジル国立 科学技術開発 評議会研究者	ブラジル	国際日本文化 研究センター	07.07.02～ 08.06.01	都市風景と現代日本詩
12	KUBOTA, Ryuko	ノースカロラ イナ大学准教 授	米国	上智大学	07.01.05～ 08.01.04	想像世界におけるアイデンティティ形成：女性と日本の英会話学習ビジネス
13	UEDA, Atsuko	プリンストン 大学助教授	米国	早稲田大学	07.01.21～ 07.07.20	文学史の中の「文学」：戦後日本の文芸批評をめぐって
14	BUTLER, Lee	ブリガム・ヤ ング大学准教 授	米国	帝塚山学院大 学	07.03.02～ 07.07.31	日根野コミュニティー：生活、仕事および16世紀の日本の土地論争
15	BOGEL, Cynthia Jean	ワシントン大 学准教授	米国	京都大学	07.01.07～ 07.10.06	輸入された仏教オブジェクトの文化的 生活：請求目録と日本におけるその芸術的遺産
16	LOFTUS, Ronald P.	ウィラメット 大学教授	米国	お茶の水女子 大学	07.01.11～ 07.08.10	戦後を語る：日本人女性の自叙伝および回想録を読む

米州交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
17	QUINTERO, Ednodio Jose	ロス・アンデス大学教授	ベネズエラ	東京大学大学院総合文化研究所	06.09.03～ 07.08.31	近代日本小説の模範 谷崎潤一郎

人物交流事業費 (3)日本研究フェローシップ(論文執筆)〔米州〕

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招聘する。

合計額 45,014,513 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	BLACK, Matthew Douglas	コロンビア大学博士課程	米国	一橋大学	08.03.16～ 09.03.15	解明の9か条：日本の社会運動
2	PALMER, Jesse D.	カリフォルニア大学アーバイン校博士課程	米国	東京大学史料編纂所	07.08.30～ 08.08.29	円仁：日本の学問僧と平安時代に於ける唐文化
3	WALLEY, Akiko	ハーバード大学博士課程	米国	東京大学史料編纂所	07.09.11～ 08.08.28	法隆寺西院伽藍再考－伽藍配置及び堂内総力の意義について
4	YOSHITAKE, Mika, Monique	カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程	米国	多摩美術大学	07.12.02～ 08.07.01	太陽へのレクイエム：戦後日本における「もの派」「美共闘」の活動(1968-1974)
5	McLAUGHLIN, Levi	プリンストン大学博士課程	カナダ	東京大学大学院人文社会系研究科宗教史・宗教学学科	07.08.31～ 07.12.30	下から見た創価学会－創価学会の歴史と現状
6	PITA CESPEDES, Gustavo	エル・コレヒオ・デ・メヒコ博士課程	キューバ	筑波大学	07.07.28～ 08.09.27	明治から昭和にかけての日本社会の発展に武士道精神が与えた影響
7	MENDEZ VAZQUEZ, Marcela Ines	エル・コレヒオ・デ・メヒコ アジア・アフリカ研究センター日本科博士課程	アルゼンチン	慶應義塾大学	07.08.04～ 08.09.01	多様性の調整－現代日本におけるラテンアメリカの日系人および政治的想像体
8	KUNIMOTO, Thalia Namiko Athena	カリフォルニア大学パークレイ校博士課程	カナダ	上智大学	07.06.15～ 08.08.14	太陽の肖像：具体派の美術における暴力と国民性

米州交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
9	HOFER, Franz D.	コーネル大学 博士課程	カナダ	名古屋大学学 院	07.09.04～ 08.11.03	歴史の事実を作る： 戦後日本とドイツのトラウマ的な過去のビジュアル表現
10	KINGSBERG, Miriam Lynn	カリフォルニア大学バークレー校博士課程	米国	東京外国語大学アジア、アフリカ言語文化研究所	07.06.11～ 07.10.12	10世紀初頭の大連における「アヘンの近代性」
11	O'DAY, Robin	プリティッシュ・コロンビア大学博士課程	カナダ	上智大学	07.12.31～ 09.02.28	日本再構築：若年層における雇用率の低下と社会運動の出現
12	NANTAIS, Simon Michel	ビクトリア大学博士課程	カナダ	立命館大学	07.09.28～ 08.08.31	米軍占領下の在日韓国人
13	STEAVU- BALINT, Dominic	スタンフォード大学博士課程	カナダ	東洋大学文学部哲学課	06.03.28～ 07.05.27	護符の信仰：日本の宗教における道教的要素
14	YAMAMOTO, Miyabi	カリフォルニア大学バークレー校博士課程	米国	早稲田大学	06.12.27～ 08.01.30	日本から見た植民地朝鮮
15	OKURA, Nana	エール大学博士課程	米国	上智大学国際教養学部	06.06.27～ 07.06.26	ホワイトカラーとグレーヘア：メトロポリタン日本のサラリーマンのアイデンティティ
16	McMORRAN, Christopher Michael	コロラド大学博士課程	米国	大阪市立大学	06.07.01～ 07.06.30	移住者と女性が支える独自性：日本の田舎観光地のふるさと創生
17	LIM, Sungyun	カリフォルニア大学バークレー校大学院生	米国	京都大学	06.09.15～ 07.07.29	植民地朝鮮における家族、法律、戸籍の研究
18	GUNDRY, David James	スタンフォード大学博士課程	米国	早稲田大学	06.09.02～ 07.08.31	西鶴の世紀：江戸時代初期の文学における道徳、階級、及び文体
19	ENDO, Mika	シカゴ大学博士課程	米国	立教大学	06.11.01～ 07.10.31	子供たちが書いた生活：戦前の生活綴り方の隆盛
20	MUTAFCHIEVA, Rositsa	マギル大学博士課程	カナダ	大阪市立大学	07.01.18～ 07.11.03	現代日本の部落言語の構造

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
21	OMORI, Hisako	マクマスター 大学博士課程	カナダ	上智大学比較 文化学科	06.09.10～ 07.08.22	現代性、グローバル化、そして交渉によるアイデンティティ：現代日本におけるローマン・カソリックの民族間研究
22	LINLEY, Matthew	オーストラリア国立大学博士課程	カナダ	早稲田大学政治経済学部	06.09.29～ 07.04.28	中国と韓国の日本の公外交の比較

人物交流事業費	(4)日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕
---------	------------------------

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 15,819,707 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	BECKWITH, Christopher Irving	インディアナ 大学教授	米国	東京外国語大 学アジア・ア フリカ言語文 化研究所	07.07.01～ 07.08.29	原始日本語における初期古代中国語からの借用語
2	COGAN, Gina	ボストン大学 助教授	米国		07.06.22～ 07.08.02	十九世紀の日本仏教と家族
3	DAVIS- GARDNER, Angela Mackie	ノースキャロ ライナ州立大 学教授	米国		07.09.28～ 07.10.18	蝶々婦人の子供、小説
4	HILL, Christopher Laing	イエール大学 助教授	米国		07.09.06～ 07.10.28	自然主義文学における開放された女と神経衰弱
5	ITO, Kinko	アーカンソー 大学リトル ロック校教授	米国		07.12.15～ 08.01.04	レディースコミックの最近の動向-マンガに映し出される日本の社会と現実
6	JACKSON, David Neil	独立研究者	米国		07.09.10～ 07.11.08	階段筆筒、歴史の陰の階段室
7	HAVENS, Thomas Robert Hamilton	ノースイース タン大学教授	米国		07.05.11～ 07.07.08	自然を公共の場所に改造する：日本の都市公園、国立公園、自然公園 1873年から現在まで
8	LIFE JR., Theodore, Reginald	グローバル フィルムネッ トワーク株式 会社常務取締 役	米国	琉球大学 ア メリカ研究セ ンター	07.07.22～ 07.08.19	カクテルパーティー：日本の小説の英語及び日本語での映画への脚色

米州交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
9	MILLER, Laura	ロヨラ大学シカゴ校教授	米国	早稲田大学	07.06.01～ 07.07.09	日本のギャル文化における壊れた文体と新しい絵文字
10	SAGERS, John Hampton	リンフィールド大学助教授	米国	立教大学	08.03.10～ 08.05.08	明治日本での利益と道徳の追求：渋沢栄一の実業家的論理思想
11	SHIMIZU, Sayuri Guthrie	ミシガン州立大学准教授	米国		07.05.14～ 07.07.12	太平洋横断のフィールド・オブ・ドリームズ 日米野球対決 1872-1952
12	THORNBUR, Karen, Laura	ハーバード大学	米国		07.06.16～ 07.07.07	動いていく文化とテキスト：植民地または半植民地の東アジア圏の日本文学を変更する
13	TRAGANOU, Georgia	パーソンズ美術大学助教授	米国	武蔵野美術大学	07.06.29～ 07.08.27	1940年、1964年、1972年のオリンピックのグラフィック・デザインの運動を通じた国家の戦争描写と戦後日本
14	TSUJIMURA, Natsuko	インディアナ大学教授	米国		07.05.18～ 07.06.10	コンピュータを使つてのコミュニケーションにおける日本語の変化
15	TUCKER, John Allen	イーストキャロライナ大学教授	米国	南山大学 宗教文化研究所	07.06.14～ 07.07.13	南山日本哲学資料集の日本儒教
16	SPIES, Alwyn	プリティッシュ・コロンビア大学 オカナガン校助教授	カナダ		07.05.28～ 07.07.23	グローバルおばあちゃん：冬のソナタの年配女性の受け止め方と反応の異文化間比較
17	BIJOS, Leila Maria Da'Juda	ブラジリア・カトリック大学教授	ブラジル	筑波大学	07.12.13～ 08.02.10	貧困と社会的排除と民族・人種差別：日本におけるブラジル人出稼ぎ女性が直面する困難の比較研究

催し等事業費 (1)知的交流会議（主催）〔米州〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 5,014,071 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日本研究情報専門家研修	国立国会図書館	07.11.25～ 07.12.12	北米及び中南米地域の日本研究機関等に所属する日本研究情報専門家等（司書、研究者など）を招へいし、国立国会図書館の協力を得て日本に関する最新の情報及び各種書誌情報検索などの研修を実施。

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
2	シンポジウム「社会科学国際フェローシップ-その成果・課題・展望」	国際文化会館	07.07.30	平成18年度まで国際文化会館と共催で実施してきた「新渡戸フェローシップ」を含む社会科学分野の国際フェローシップをテーマに、その成果や課題を検証し、国際的な人材育成プログラムの今後の展望を議論。

催し等事業費	(2) 知的交流会議（助成）〔米州〕
--------	--------------------

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 7,952,884 円

	事業名	助成機関	国	期間	事業内容
1	グローバル経営と経済開発に関する国際学会	龍谷大学国際学術学会開催実行委員会	日本	07.08.08～ 07.08.10	21世紀における国際社会のあり方をめぐって、企業の社会的責任のあり方、企業倫理に対する考え方、世界的な経済格差に対する取り組み方、限りある天然資源の最適配分のあり方などの様々な問題について世界の研究者の叡智を結集して解決方法について議論を展開し、その結果を世界に向けて発信。
2	第18回全ブラジル日本語、日本文学、日本文化教師会及び第5回国際日本研究学	パウリスタ州立大学（UNESP）アシス校	ブラジル	07.08.30～ 07.08.31	日本研究分野におけるブラジル最大の学会で、日本語・日本文学・日本文化の各分野にわたる多角的内容を目指し、二日間の日程でブラジル内外の研究者が講演・ディスカッションを実施。特にパネルディスカッションは多くのテーマを企画し、文化・宗教・文学・日本語教育などについてあらゆる角度から議論。
3	現代北東アジアにおけるポピュラーカルチャーの流れ	ブリティッシュ・コロンビア大学韓国研究センター	カナダ	08.02.22～ 08.02.23	日本・韓国・中国・台湾におけるカラオケ・アニメ・マンガ・映画・音楽・テレビドラマ・ゲームなどのポピュラー・カルチャーが各国間で相互に流通している現象や、各国政府がポピュラーカルチャーをソフトパワーとして公共政策にどのように取り込んでいるかなどを各国の学者が集まって学際的に比較。
4	日本の映画制作における芸術的習慣と社会的習慣の間で起こる相互関係	ヨーク大学	カナダ	07.11.12～ 07.11.19	さまざまなジャンルを専門とする日本映画研究者を集め、1960年代、70年代に制作された日本映画に見られる芸術的側面と社会運動的側面の関連性を再定義し、現代の映画製作に与える影響や可能性を考察するための公開ワークショップと映画上映会を4日間にわたって開催。

米州交流事業費

	事業名	助成機関	国	期間	事業内容
5	第2回リオ環境国際会議	日伯文化協会	ブラジル	07.09.19～ 07.09.21	日本と南米における環境思想、環境社会学、環境経済学等の研究成果を共有することで、新しい自然環境の価値観を模索し、国際的な政策および学問における新領域分野を創造することが目的。特に、環境倫理学・環境思想史からの視点、経済学からの視点、政策面からの視点から新しい環境の価値の再評価を実施。

文化資料事業費 (1) 図書寄贈〔米州〕

海外の日本研究・教育機関や公共図書館等に日本関係図書等を寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 9,605,220 円

	国名	機関	部数
1	アルゼンチン	国立ラプラタ大学国際関係研究所	55
2	エクアドル	エクアドル・カトリック大学	3
3	エル・サルバドル	フランシスコ・ガビディア大学図書館	64
4	カナダ	ヴィクトリア大学 マクファーソン図書館	58
		ケベック大学 モントリオール校	119
		アルバータ大学	7
		モントリオール大学 東アジアセンター	52
		カールトン大学図書館	38
		トンプソン・リバーズ大学	52
5	キューバ	国立芸術学院	53
6	チリ	ディエゴ・ボルタレス大学	37
		チリ・カトリカ大学	73
7	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国図書館	81
8	ニカラグア	セントラル・アメリカン大学	56
9	パラグアイ	ノルテ大学	50
10	ブラジル	ブラジリア大学中央図書館	41
11	ベネズエラ	ロス・アンデス大学	22
		シモン・ボリバル大学図書館	26

	国名	機関	部数
12	米国	アリゾナ州立大学 エモリー大学 ウィスコンシン州立大学スティーブンス・ポイント校 イーストカロライナ大学ジョイナー図書館 ポートランド・コミュニティ・カレッジ アラスカ大学 アンカレッジ校	66 180 64 37 56 31